平成30年7月豪雨後からの復旧・復興に向けた取り組み。



## 器急砂防工事着手

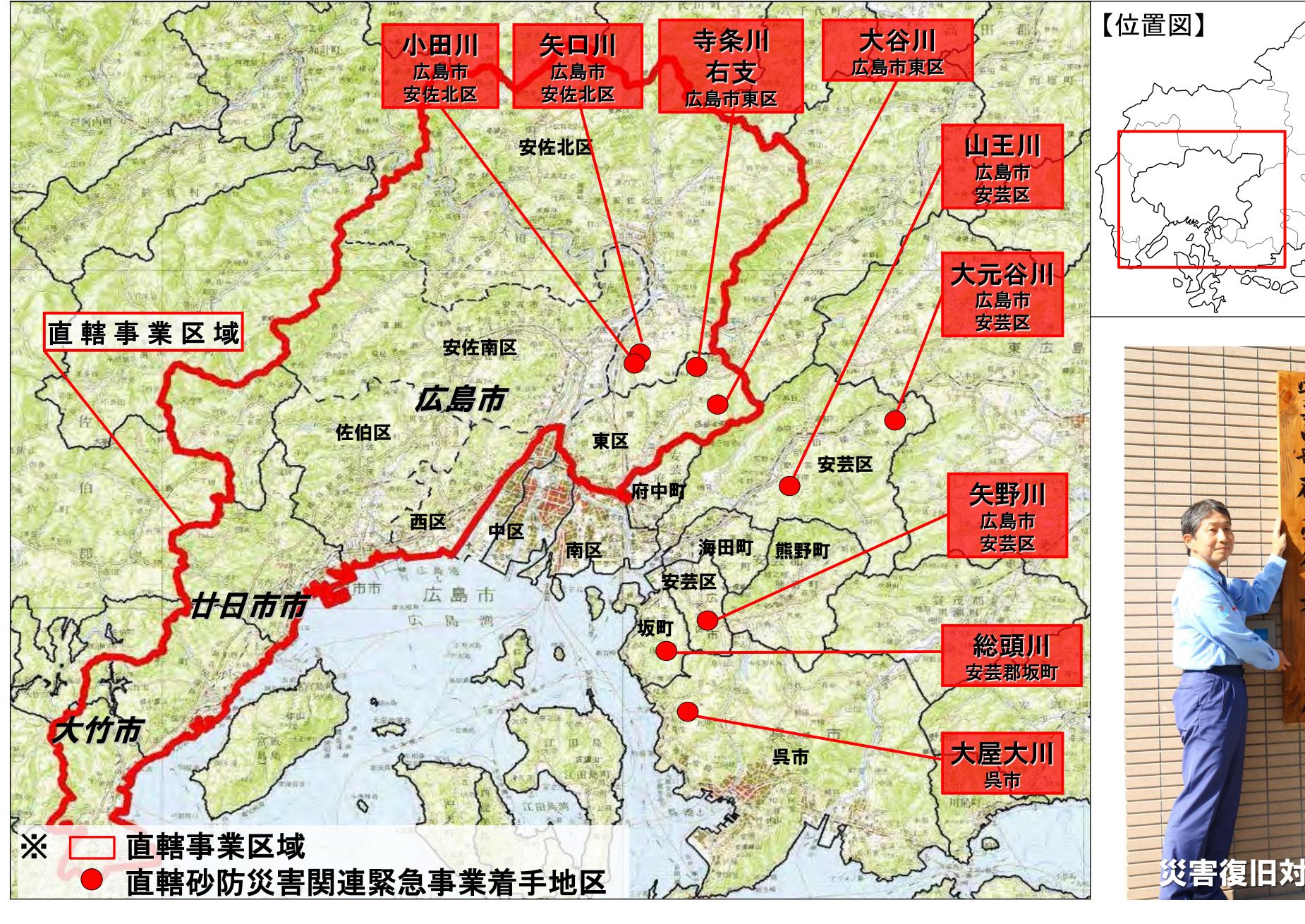
### 広島県

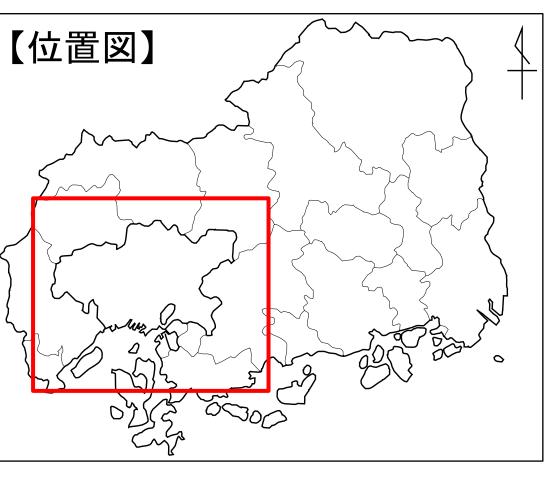


総頭川下流の河道を埋塞する大量の土砂

平成30年7月豪雨において甚大な被災を受けた広 島県内の9地区において、流域内に堆積した不安定 土砂等による二次災害を防ぐため国直轄により緊急 的な砂防工事に着手。









# 義息治力以对

### 岡山県倉敷市真備町

- ■概ね5年間で、平成30年7月豪雨を安全に流下させるために、集中的に実施する河 川改修事業(いわゆる「激特事業」)等により、小田川合流点付替えを行 うとともに、小田川の掘削・堤防強化等や末政川・高馬川・真谷川の堤防帯上 げ・堤防強化等を実施。
- ■今後、これらのハード対策のほか、平成28年8月に国、 岡山県、倉敷市などの隣接市町で水防災意識 社会の再構築を目的に立ち上げた「高梁川水系大規 模氾濫時の減災対策協議会」において、関係機 関が連携しソフト対策を追加。



【合流点付替えにより小田川の水位を軽減】

現状水位

酒津地点

【県管理河川】堤防嵩上げ

平成30年7月豪雨による「まちと住まいの復興」に向けた被災 自治体への支援を行うため、「中国地方 復興まちづくり・住ま いづくり支援チーム」を設置。

